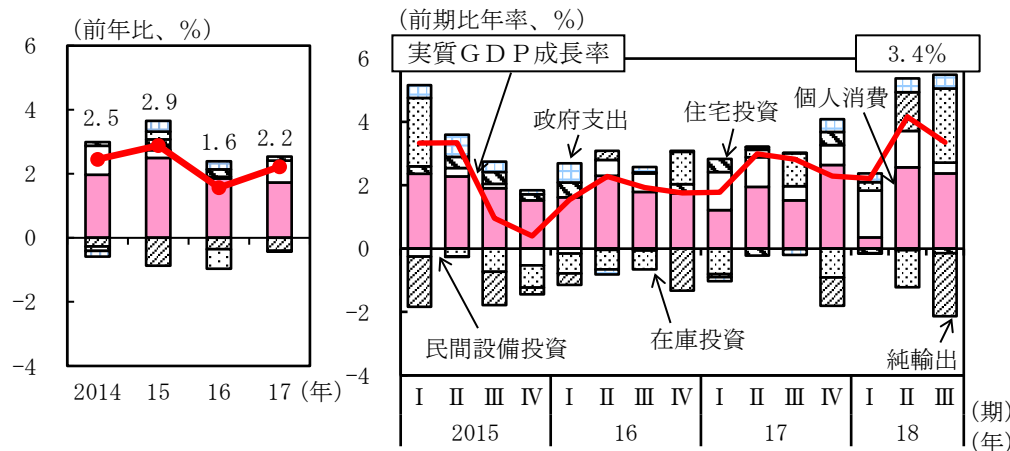


# 1. アメリカ

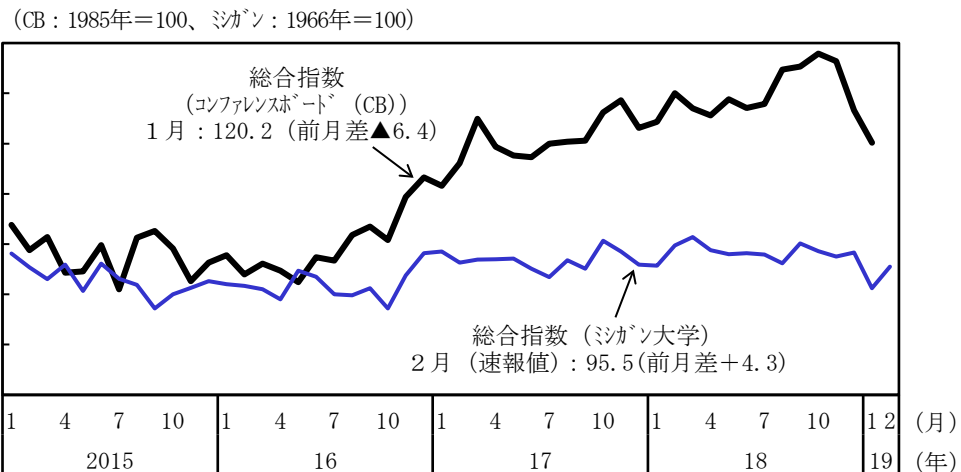
○アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。

①実質GDP成長率（3次推計値）  
2018年7-9月期は前期比年率3.4%成長

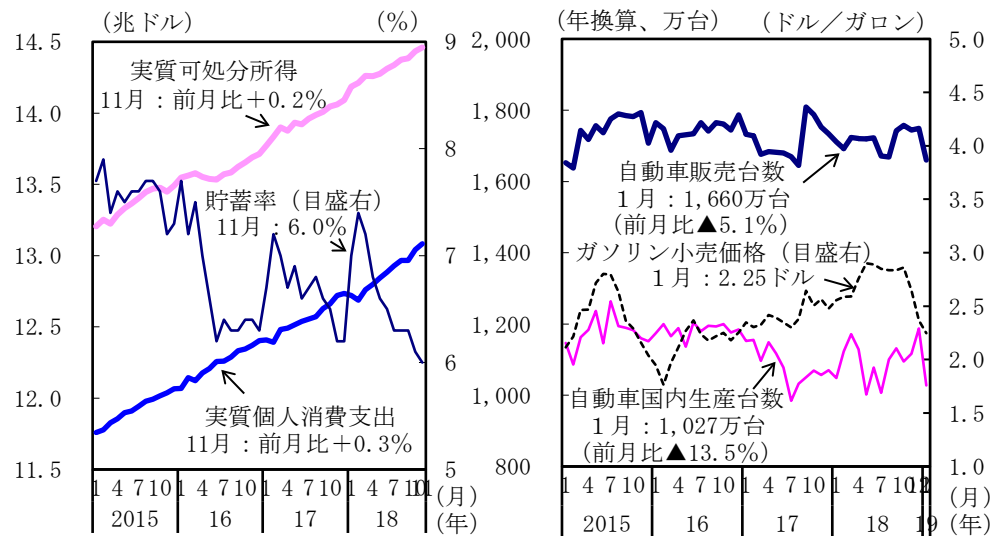


(備考) 2018年7-9月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：2.4、民間設備投資：0.4、住宅投資：▲0.1、在庫投資：2.3、政府支出：0.4、純輸出：▲2.0。

消費者信頼感指数

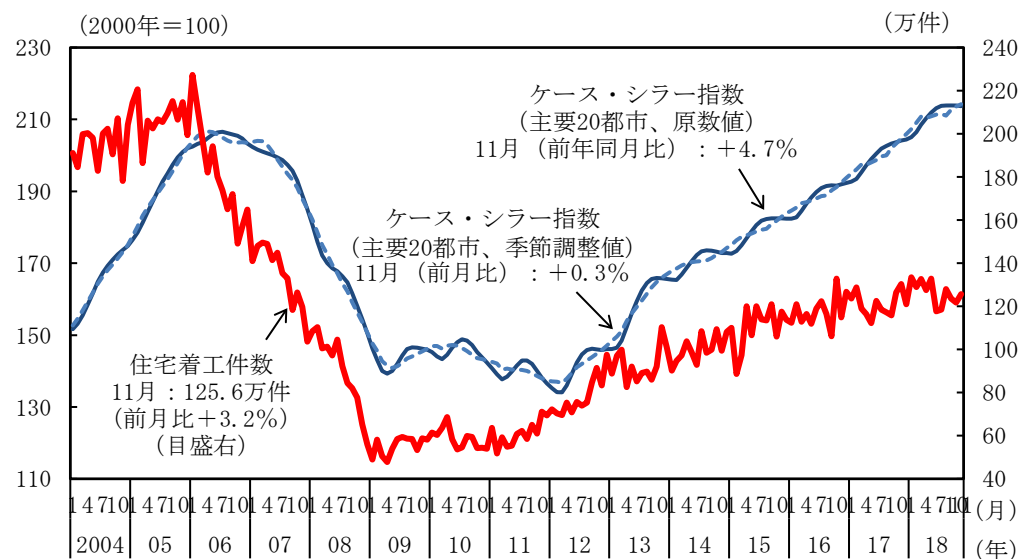


②消費は増加、自動車販売台数はおおむね横ばい

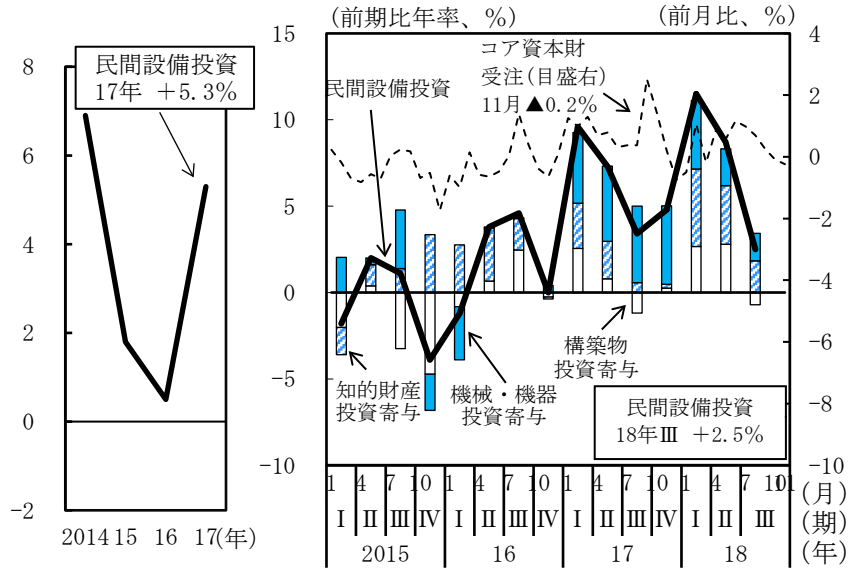


(備考) 月次の値は年率換算。

③住宅着工はおおむね横ばい、住宅価格は緩やかに上昇

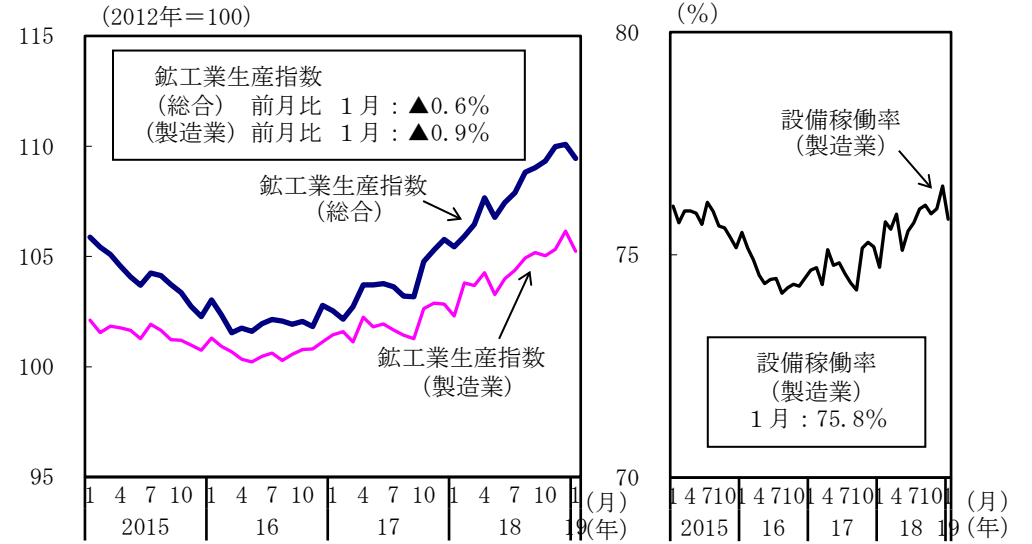


#### ④設備投資は緩やかに増加

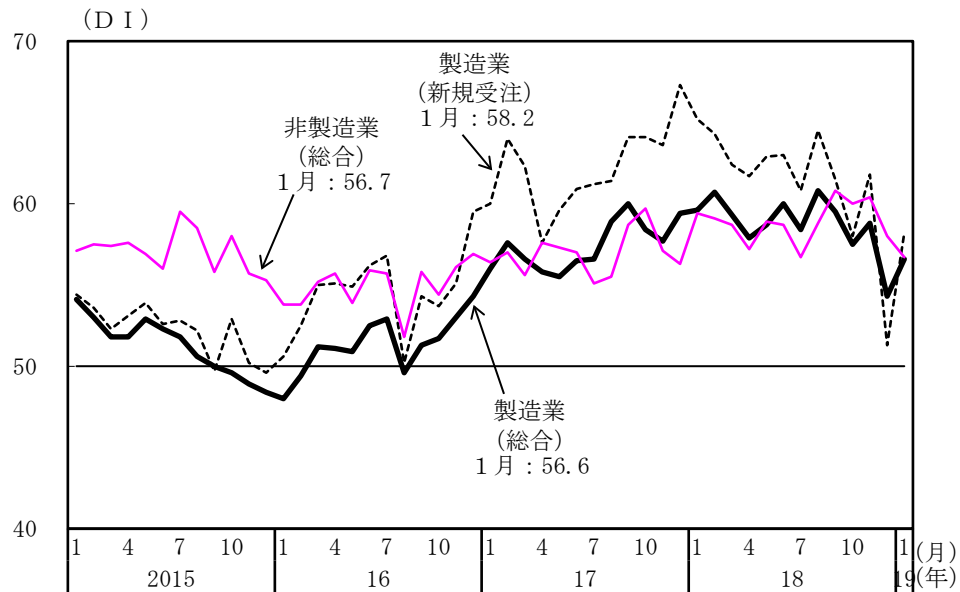


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

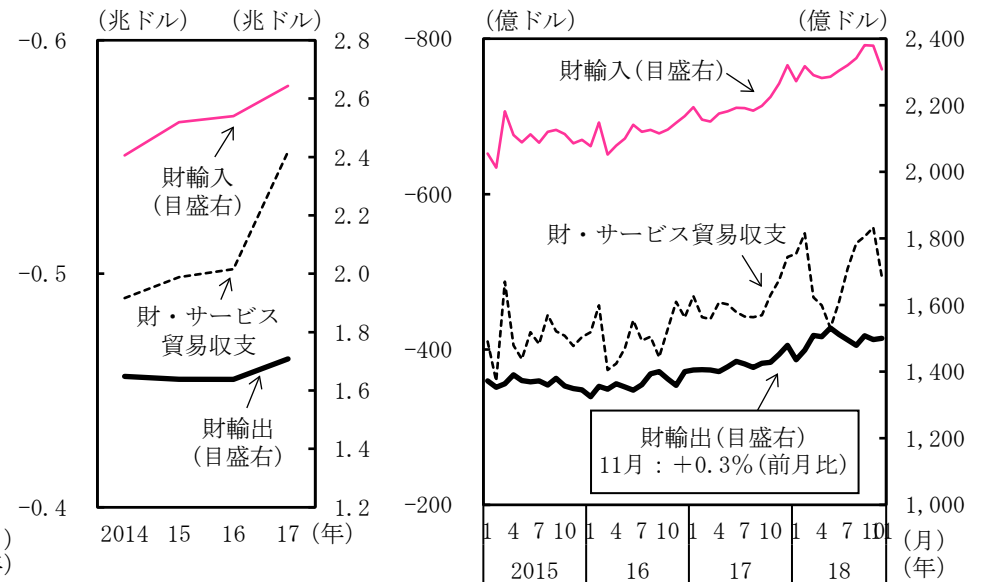
#### ⑤生産は緩やかに増加



#### 製造業の景況指数はこのところ低下

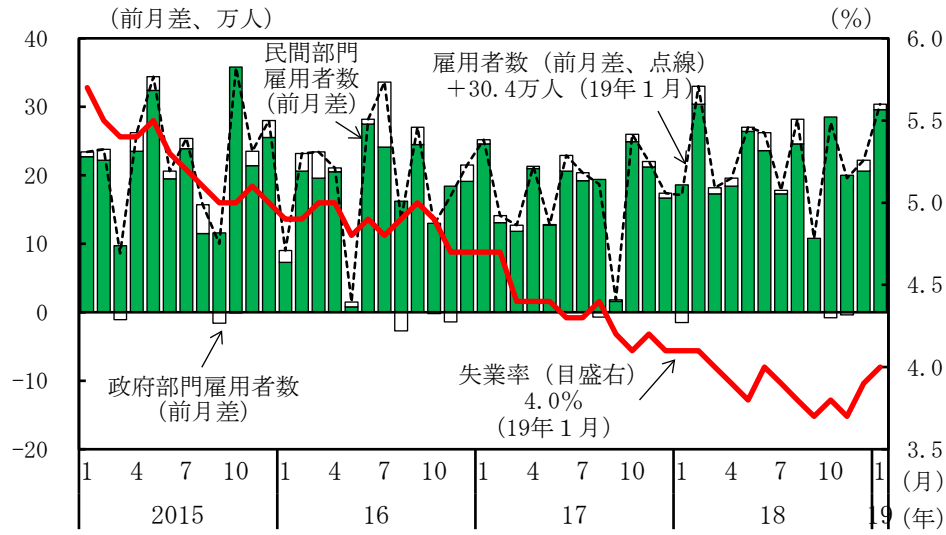


#### ⑥財輸出は弱い動き



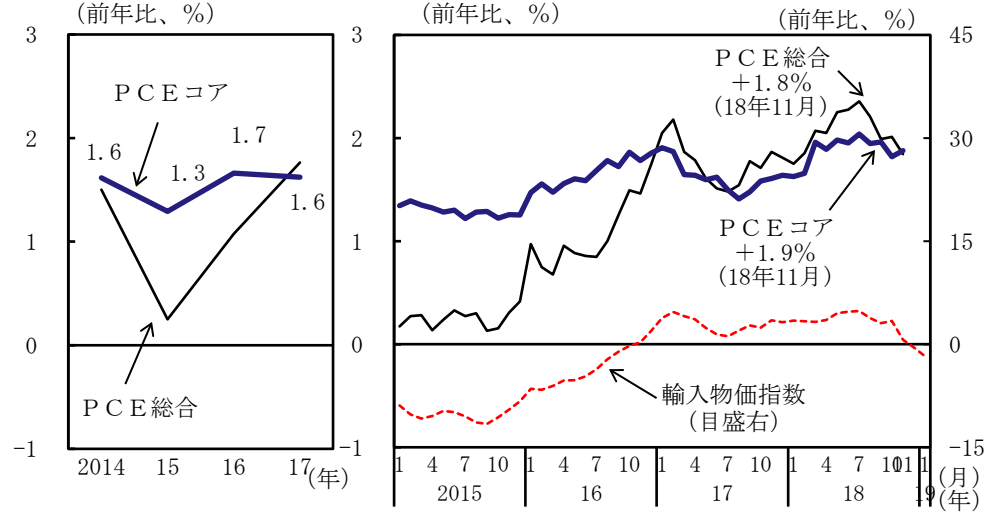
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

### ⑦雇用者数は増加、失業率は低下傾向



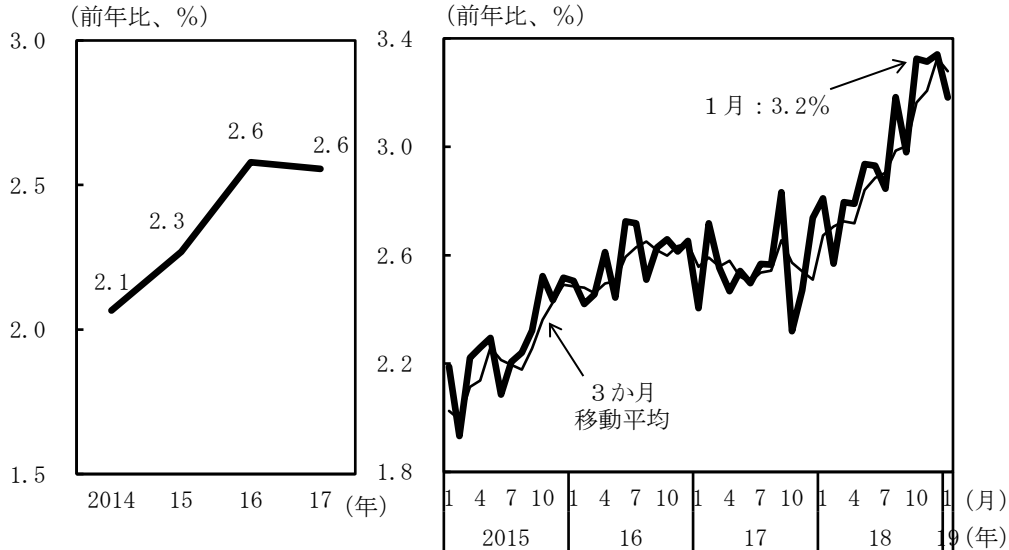
(備考) 雇用者数は非農業部門。

### ⑧コア物価上昇率は安定



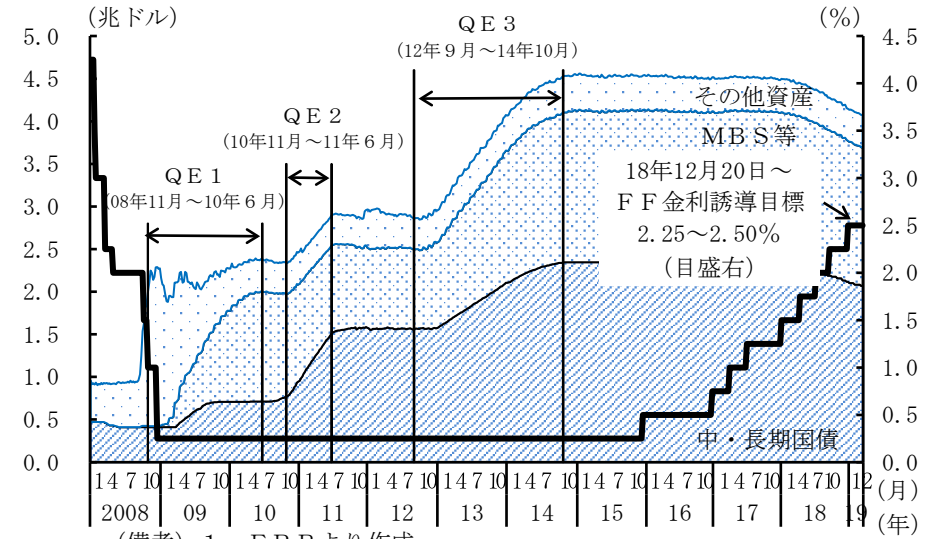
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。  
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

### 賃金の伸びは高まっている



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

### 金融政策



(備考) 1. FRBより作成。  
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。